第2期街路樹再生なごやプラン 計画期間:5年(令和8年度~12年度)

街路樹再生の取り組み

街路樹再生指針H27年8月 目的 街路樹再生により都市と市民が輝く 名古屋を創造する 「量の拡大」から「質の向上」へ 安全性の確保 都市魅力の向上

路 |樹再生プログラム (案 H28~R2

街路樹再生なごやプラン R3年度~7年度

取組の方向性 ●健全な街路樹 ●地域に愛される街路樹

≫進め方

維持管理の 最適化

維持管理の 質的向上

適正配置 持続可能な維持管理

道路空間への

実行方針1

道路空間と調和した 待路樹づくり

実行方針2

地域に愛される 街路樹づくり

第1期街路樹再生プランの実績と検証

管理コストの縮減

⊳実績

	取組手法	目標 事業量 (本)	実績(見込) 令和3年度~ 令和7年度 (本)	達成率 (見込) (%)
更新	道路空間と調和した街路樹へ の更新	5,000	5,132 (植栽3,098)	102.6
	市民や地域に親しまれている 並木道の更新	500	267 (植栽178)	53.4
	合計	5,500	5,399 (植栽3,276)	98.2
撤去	狭幅員歩道の通行確保のため の街路樹撤去	2,000	2,083	104.2
	信号機や標識等の見通しを妨 げる街路樹の撤去	800	827 (※)	103.4
	街路樹診断等による不健全木 の撤去	1,000	1,656	165.6
	合計	3,800	4,018	105.7
せん定	健全育成のためのせん定 災害時の安全性確保のための せん定	23,800/ 年	23,576/ 年(平均)	99.1

※827本のうち、548本は他の取組手法で撤去したものであり、撤去の合計本数に は含まない。



●事故リスクが高い街路樹の更新





ナンキンハゼ

ハナミズキ

路

生

な

も

ラ

反

●狭幅員歩道の通行確保のための街路樹撤去





【撤去前】歩道有効幅員1.47m

【撤去後】歩道有効幅員2.67m

≻検証

安全性の確保 ・街路樹の事故件数は依然として多いため、安全性を確 保するためには、**継続して事業を推進**する必要がある。

都市魅力の向上

- 広幅員道路で更新する場合には、樹冠の大きくなる **樹種を選定**して、風格ある並木を形成する必要がある。
- 美しい道路景観を創出するため、樹種や樹木の大きさ、 道路の幅員に合わせたせん定を定期的に行う必要があ

管理コストの縮減

更新や撤去により、**将来のせん定費用を抑制**し、維持 管理コストの縮減を図ることができたが、生長による 管理費の上昇や経費の上昇にも対応できるよう今後も 着実に進める必要がある。

▶市民意見

●令和5年度第3回ネットモニターアンケート

路線更新⇨約7割が賛成的な意見 路線撤去 冷約8割が賛成的な意見

第2期街路樹再生なごやプランの方針等

あるべき姿

●道路空間との調和を保ち、機能や役割を十分に発揮できる健全な街路樹

Ħ

●市民・事業者等と共に育て、地域に愛される街路樹

実 行 方 針 (継 続)

実行方針1

道路空間と調和した街路樹づくり

実行方針 2

地域に愛される街路樹づくり

記録・共有 街路樹管理システム(街路樹台帳) 点検結果 の記録

維持管理サイクル

日常の維持管理

す 効

安全性の確保

- ■更新・撤去・せん定による 事故リスクの低減
- ■良好な通行空間の確保
- ■災害時の交诵ネットワークの確保
- ■健全な街路樹の育成

都市魅力の向上

■シンボル並木の形成

指

- ■美しい道路空間の創出
- ■親しみと誇りを持てる並木づくり
- ■魅力ある並木道の保全・育成

管理コストの縮減

街路樹の再生

撤去せん定

- ■更新・撤去による 管理本数の適正化
- ■更新・撤去による せん定費用の抑制

取組手法 1 更新 5.500本 / 5年

○事故リスクの高い樹種の追加

更新の対象樹種

フリノキ、ケヤキ、プラタナス、Tンジュ クスノキ、サクラ類、ナンキンハゼ、アメリカフウ アオギリ、イチョウ、アキニレ

マテバシイ、タイサンボク、クロガネモチ、シラカシ

※下線の4種を新たに追加

○広幅員道路に植栽する樹種の設定

広幅員道路に植栽する樹種

トウカエデ、イチョウ、アメリカフウ等





広幅員道路 トウカエデ並木 (若宮大通)

取組手法2

狭幅員歩道の街路樹撤去を優先的に実施

狭幅員歩道の通行確保のための街路樹撤去

第一期 2,000本 / 5年 第二期

3,000本 / 5年

当初事業期間30年



事業期間22年

狭幅員歩道の街路樹

※標識等の見通しを妨げる街路樹撤去400本/5年、不健全木の撤去400本/5年

取組手法3 せん定 23.800本/年

海準的かけ / 完頻度の亦再

) 信牛的なぜん 上頻長の 変史				
樹種	現行	変更後		
ナンキンハゼ	1年に1回			
アメリカフウ	1年に1回	変更なし		
トウカエデ	1~2年に1回			
<u>イチョウ</u>	3年に1回	1~3年に1回		





広小路通のイチョウ並木